

# Pagliacci

レオンカヴァッロ/歌劇『道化師』

&

# Cavalleria Rusticana

カヴァレリア・ルスティカーナ

マスカーニ/歌劇『田舎騎士道』

新演出/イタリア語上演、日本語・英語字幕付き

東京芸術劇場  
シアターオペラ vol.16

## Tokyo

2023.2.3

(金)

18:30

2023.2.5

(日)

14:00

東京芸術劇場  
コンサートホール



開館30周年記念

## Aichi

2023.3.3

(金)

18:00

2023.3.5

(日)

14:00

愛知県芸術劇場  
大ホール

*Handwritten signature: 上田久美子*

19世紀イタリア——傑作ヴェリズモオペラの描いた現実が  
現代日本の裏通りによみがえる

演出家、上田久美子が宝塚歌劇団退団後、初の舞台演出!

[主催・共同制作] 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場/東京都 愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

[助成] 文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業(共同制作支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



ありきたりな小さなコミュニティ内の嫉妬、不倫、復讐を題材にどり、観客を熱狂させたヴェリズモ・オペラの代表作。美しい音楽に満ち溢れたドラマティックなイタリアオペラの名作を新演出でお届けします。宝塚歌劇団で次々と話題作を手掛けてきた演出家、上田久美子と、オペラを熟知したマエストロ、アッシャー・フィッシュが開く、名作オペラの新たな境地。どうぞお見逃しなく。

イタリアのオペラを、日本で演じ、日本に住む観客が見るのなら、この土地ならではのやり方はないのかな？  
 そう考えたのが始まりでした。日本でオペラにあたるものといえば文楽かもしれない。  
 今回の二作品は、実際にあったスキャンダラスな殺人事件を元ネタにしているとも言われていて、  
 そんなストーリーの作り方も文楽と同じです。太夫と人形遣いのように、今回のオペラでは、  
 一つの役を、歌手と役者(ダンサー)の二人の共同作業で演じてもらったらどうなるだろう。  
 こんな時代にこそ、マエストロ、歌手、ダンサー、オーケストラ、コーラス、  
 他にもたくさんの素晴らしいアーティストたち…  
 人々のエネルギーが混じり合い、イタリアと日本が混じり合い、  
 脳味噌フル稼働で観ていただけるオペラができたと思います。  
 さあ、生まれるのは、失望か？ 希望か？  
 上田久美子

# Pagliacci

道化師

\*ダンス



**Canio**  
 カニオ[加美男]:  
 アントネッロ・パロンビ & 三井聡\*



**Nedda**  
 ネッダ[寧々]:  
 柴田紗貴子 & 蘭乃はな\*



**Tonio**  
 トニオ[富男]:  
 清水勇磨 & 小浦一優(学洗坂係長)\*



**Peppe**  
 ペッペ[ペーペー]:  
 中井亮一 & 村岡友憲\*



**Silvio**  
 シルヴィオ[知男]:  
 高橋洋介 & 森川次朗\*



やまだしげき\*



川村美紀子\*

# Cavalleria Rusticana

田舎騎士道(カヴァレリア・ルスティカーナ)



**Turiddu**  
 トゥリッドゥ[護男]:  
 アントネッロ・パロンビ & 柳本雅寛\*



**Santuzza**  
 サントウツツァ[聖子]:  
 テレサ・ロマーノ & 三東瑠璃\*



**Rola**  
 ローラ[葉子]:  
 鳥木弥生 & 高原伸子\*



**Alfio**  
 アルフィオ[日野]:  
 三戸大久 & 宮河愛一郎\*



**Lucia**  
 ルチア[光江]:  
 森山京子 & ケイタケイ\*



Asher Fisch

指揮  
**アッシャー・フィッシュ**

エルサレム生まれ。バレンボイムのアシスタントからキャリアを始め、1995年ベルリン国立歌劇場副指揮者に就任。以来、ウィーン・フォルクスオーパー音楽監督、ニュー・イスラエル・オペラ音楽監督、シアトル・オペラ首席客演指揮者等を歴任、メトロポリタン・オペラ、コヴェント・ガーデン王立歌劇場、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団等世界中の一流歌劇場、オーケストラに登場している。伊独仏等いずれの分野にも精通するオペラのスペシャリストとして名声が高く、現代世界楽壇を代表するマエストロの一人。日本国内でも2010年あいちトリエンナーレ『ホフマン物語』や、19年の新国立劇場『タンホイザー』等数々の舞台で高い評価を得ている。



Kumiko Ueda

演出  
**上田久美子**

奈良県出身、戯曲家、演出家。京都大学文学部フランス語学フランス文学科卒業後、一般企業勤務を経て、演出助手として宝塚歌劇団入団。『月雲の皇子 衣通姫伝説より』(2013年宝塚歌劇団月組)で初の脚本・演出を手がける。『翼ある人びと ブラームスとクララ・シューマン』(2014年宝塚歌劇団宙組)、『桜嵐記』(2021年宝塚歌劇団月組)で、それぞれ第18回、第25回鶴屋南北戯曲賞にノミネート。『星逢一夜』(2015年宝塚歌劇団雪組)で第23回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。オリジナル脚本での確かな筆力と美しくダイナミックな演出が評価されてきた。2022年、新しく幅広い表現を求めて宝塚歌劇団を退団、フリーランスに。

『道化師』カニオ / 『田舎騎士道』トゥリッドゥ  
**アントネッロ・パロンビ**

イタリア中部のスポレート生まれ。1990年、『蝶々夫人』のピンカートン役でオペラ初舞台。2004年にはシアトル歌劇場の『西部の女』ジョンソン役を歌ってアメリカデビューを果たす。2006年、ゼフィレリ演出のスカラ座『アイーダ』にアラニーヤの代替として急速Gペンビシヤツ姿のまま登場し、世界のオペラ・ファンをあっといわせた。イタリアを代表するドラマティック・テノールの一人で、ミラノ・スカラ座、ローマ歌劇場、ヴェネツィアのフェニーチェ劇場、ナポリのサン・カルロ劇場、メトロポリタン歌劇場、グランドボーン・オペラ音楽祭、イタリアのプッチーニ音楽祭等へ出演。『アイーダ』ラダメス、『オテロ』オテロ、『ドン・カルロ』ドン・カルロ、『トロヴァトーレ』マンリーコ、『カルメン』ドン・ホセ、『トスカ』カヴァラドッシ、『蝶々夫人』ピンカートン、『トゥーランドット』カラフ等多彩な役柄を演じている。



Antonello Palombi

(東京公演) 合唱: ザ・オペラ・クワイア  
 児童合唱: 世田谷ジュニア合唱団  
 管弦楽: 読売日本交響楽団  
 (愛知公演) 合唱: 愛知県芸術劇場合唱団  
 児童合唱: 名古屋少年少女合唱団  
 管弦楽: 中部フィルハーモニー交響楽団  
 合唱指揮: 辻 博之  
 コレパティトゥア: 岩淵慶子  
 副指揮: R.A. ゴンザレス

振付: 麻咲梨乃(道化師)  
 前田清実(田舎騎士道)  
 柳本雅寛(田舎騎士道)  
 擬闘: 栗原直樹  
 美術: 上田久美子  
 美術監修: 大橋泰弘  
 美術コーディネーター: 中村友美  
 衣裳: 藤谷香子(FAIFA1)  
 衣裳協力: 花柳劇団

ヘアメイク: JULIA.  
 照明: 高田政義(RYU)  
 映像: 山田晋平  
 音響: 石丸耕一  
 舞台監督: 酒井健  
 演出助手: 喜田健司  
 振付助手: 森川次朗(道化師)  
 中谷薫(田舎騎士道)  
 プロダクションマネージャー: 関秀哉



# Tokyo

2023年2月3日(金) 18:30開演(17:30開場)  
 2023年2月5日(日) 14:00開演(13:00開場)  
**東京芸術劇場 コンサートホール**  
 (東京都豊島区西池袋1-8-1)

## チケット料金

全席指定(税込)

SS席	¥14,000
S席	¥12,000
A席	¥9,000
B席	¥6,000
C席	¥4,000
D席	¥3,000
E席	¥2,000
高校生以下*	¥1,000

\*東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取り扱い(枚数限定・要証明書)  
 ※障害者手帳をお持ちの方は、割引料金で鑑賞いただけます。詳しくは、  
 東京芸術劇場ボックスオフィスまでお問合せください。(要事前予約)

## チケット発売日

10月22日(土) 10:00 一般発売  
 ※芸劇メンバーズ(Web先着)先行発売  
 10月15日(土) 10:00-21日(金) 23:59

## チケット取扱い

東京芸術劇場ボックスオフィスWEB

<https://www.geigeki.jp/t/>

TEL 0570-010-296

(休館日を除く10:00-19:00)

チケットぴあ <https://pia.jp/t/geigeki/>  
 (Pコード:225-395)

イープラス <https://eplus.jp/geigeki/>

ローソンチケット <https://l-tike.com/>  
 (Lコード:31660)

## お問合せ

東京芸術劇場ボックスオフィス

TEL 0570-010-296

(休館日を除く10:00-19:00)

## 公演情報ページ



東京芸術劇場

# Aichi

2023年3月3日(金) 18:00開演(17:15開場)  
 2023年3月5日(日) 14:00開演(13:15開場)  
**愛知県芸術劇場 大ホール**  
 (名古屋市中区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター2階)

## チケット料金

全席指定(税込)

S席	¥10,000
A席	¥8,000
B席	¥6,000 (U25 ¥3,000)
C席	¥4,000 (U25 ¥2,000)
D席	¥3,000 (U25 ¥1,500)
プレミアムシート	¥14,000
ジューダイシート	¥1,000

※U25は公演日に25歳以下対象(要証明書) ※C席、D席は☆の窓口のみ取扱い ※10歳~19歳の方を対象にした「ジューダイシート」を公演直前に特別割引価格(1,000円)・数量限定にて販売する予定です。詳細はウェブサイトをご確認ください。 ※見切れる可能性がある席については、11月中旬以降に追加販売の予定です。詳細はウェブサイトをご確認ください。

## チケット発売日

9月16日(金) 10:00 一般発売  
 ※メンバーズは☆の窓口にて1日早く購入できます。  
 ※愛知県芸術劇場メンバーズウェブ先行販売(S,A,プレミアムのみ)  
 9月9日(金) 10:00-10日(土) 23:59

## チケット取扱い

☆愛知県芸術劇場

オンラインチケットサービス

<https://www.stage.aac.pref.aichi.jp/event/>

☆愛知芸術文化センタープレイガイド(地下2階)

TEL 052-972-0430

平日10:00-19:00 土日祝休10:00-18:00

月曜定休/祝休日の場合、翌平日、年末年始休(12/28~1/3)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:224-037)

アイ・チケット <https://clanago.com/i-ticket>

## お問合せ

愛知県芸術劇場

TEL 052-211-7552 (10:00~18:00)

[contact@aaf.or.jp](mailto:contact@aaf.or.jp)

## 公演情報ページ



ご来場いただくお客さまへ 東京芸術劇場と愛知県芸術劇場では、新型コロナウイルス感染症対策を実施しております。ご来場いただく際は、必ずホームページで注意事項や公演の最新情報をご確認の上、マスク着用にてご来場ください。また、体調不良が認められる場合は、ご入場をお断りする場合がございます。予めご了承ください。両劇場の対策ページは右のQRからご確認ください。



※未就学児入場不可、託児サービスあり(有料・要事前予約、東京公演:0120-415-306 平日9時~17時/愛知公演 [5日公演のみ]:0120-353-528 月~金9時~17時 土9時~12時) ※車椅子席などは各お問合せ先へ。 ※やむを得ない事情により、内容・出演者等が変更する場合があります。 ※購入方法によりチケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。 ※原則として、ご購入いただいたチケットのキャンセル・変更はできません。 ※座席により一部字幕、映像等が見づらい場合があります。 ※公演中の写真撮影、録音、録画は、固くお断りいたします。 ※開演後はしばらくの間入場できない場合や、自席にご案内できない場合があります。